

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

## 事業名 新規輸出品目促進事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産物流通課 輸出戦略係 電話番号：058-272-1111 (内 2918)

E-mail：[c11444@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11444@pref.gifu.lg.jp)

### 1 事業費 5,000 千円 (前年度予算額：5,000 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	5,000	2,500	0	0	0	0	0	0	2,500
要求額	5,000	0	0	0	0	0	0	0	5,000
決定額	5,000	0	0	0	0	0	0	0	5,000

### 2 要求内容

#### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・岐阜県では、本県を代表するブランド品目として、飛騨牛、富有柿、鮎の海外展開を積極的に進めてきた。
- ・今後は、これらリーディングブランドに続く新たな輸出品目の掘り起しが必要である。
- ・このため、各農林事務所や JA、市町村などで組織するワーキンググループを核として地域における新たな輸出品目を掘り起しつつ、生産者等の主体的な輸出の取り組みを支援する必要がある。

#### (2) 事業内容

- ・海外向け栽培技術確立、商品開発の支援
- ・グッズ、チラシ等の販促資材の作成経費の支援
- ・現地での新聞広告等の広告宣伝経費の支援

#### (3) 県負担・補助率の考え方

- ・新規輸出品目の拡大に向け、取組意欲の高い農林水産業者等を支援するものであり、県負担は妥当

- ・補助率 1 / 2

(4) 類似事業の有無 無

### 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	5,000	事業実施予定：14 事業者
合計	5,000	

### 決定額の考え方

### 4 参考事項

#### (1) 各種計画での位置づけ

##### (1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略（2019 年 3 月策定）  
3 (1) ④ 「ぎふブランド」づくり（情報発信・販路拡大）
- ・新たなぎふ農業・農村基本計画（2021 年 3 月策定予定）  
(3) ぎふ農畜水産物のブランド展開 ①輸出拡大の強化

#### (2) 国・他県の状況

他県：県内事業者への直接的な支援の実施状況 24 府県 / 30 府県 ※H30 福井県調査

#### (3) 後年度の財政負担

- ・新規輸出品目の掘り起こしから定着までに必要な期間として、1 品目あたり 3 年度程度は負担が必要である。
  - 1 年目 海外向け商品開発、市場動向や需要を調査
  - 2 年目 販路を開拓
  - 3 年目 輸出ルートの確立

#### (4) 事業主体及びその妥当性

- ・事業主体：農畜水産業者、農業協同組合、漁業協同組合、食品製造・流通・加工事業者、上記のいずれかを含むグループ
- ・新規輸出品目の掘り起こしに向けて、輸出に意欲のある農業者等を支援するため

## 県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	新規輸出品目促進事業費補助金
補助事業者（団体）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農畜水産業者、農業協同組合、漁業協同組合、食品製造・流通・加工事業者</li> <li>・ 上記いずれかを含むグループ</li> </ul> <p>（理由）・ 新規輸出品目の掘り起しに向けて、輸出に意欲のある農林水産業者等を支援する必要があるため。</p>
補助事業の概要	<p>（目的） 新たな輸出品目の掘り起こしに向けて、各地域の新規輸出品目の商品開発や販路拡大に必要な取組みを支援する。</p> <p>（内容）・ 海外向け栽培技術確立、商品開発の支援、販促資材の製作費、展示会や商談会に出展経費の支援</p>
補助率・補助単価等	<p>定額・定率・その他</p> <p>（内容） 定率補助（1/2 以内）</p> <p>（理由） 輸出への取組みは、県の農業支援対策の一環であり、積極的に取り組もうとする農林水産業者等への支援が必要</p>
補助効果	輸出品目の拡大、輸出販売額の増加
終期の設定	<p>終期令和 3 年度</p> <p>（理由） 事業開始時に 3 年を設定</p>

（事業目標）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか</li> </ul> <p>飛騨牛、富有柿、鮎に続くリーディングブランドを新たに発掘し、輸出額を増加させる。</p>
--

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H28 年度末)	目標 (R3 年度末)	目標 (終期 R7 年度)
① 農林水産物の輸出額（億円）	7 億円	18 億円	30 億円

（前年度の成果）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 米、メロン、栗等の新規品目での輸出拡大に向けた取組みが開始された。</li> </ul>
---

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <p>国においては、輸出額 1 兆円の目標達成に向けて輸出促進への取組みをさらに加速しているため、県としても輸出促進への取組みの継続が必要である。輸出品目の拡大を図るには、海外に販路を確立する必要がある。</p>
--

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か)</p> <p>○ : 必要性が高い、△ : 必要性が低い</p>	
(評価)	国内市場の縮小が見込まれる中、岐阜県産農産物の輸出促進及びブランド価値向上のため、必要性は高い。
○	
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)</p> <p>○ : 概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている</p> <p>△ : まだ期待どおりの成果が得られていない</p>	
(評価)	輸出に意欲のある者が効果的な事業計画を作成し、事業を開始しており、新規輸出品目の掘り起しに向け成果が上がっている。
○	
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか)</p> <p>○ : 効率化は図られている、△ : 向上の余地がある</p>	
(評価)	事業に意欲のある者が自ら商談会への出展や商品開発を実施しており、効率化が図られている。
○	

(事業の見直し検討)

輸出に意欲のある事業実施者は増加しており、全県下での新規輸出品目の掘り起しに向け、事業を継続することが必要。
--

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・廃止
(理由)

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	